

なぜドン・ホセはカルメンに惚れてしまったのか

2年4組 S.I.

カルメン第1幕に、事件をおこし拘束されたカルメンが歌うことで、見張りをしていたホセを惚れさせ、自らを解放させるという場面があった。この場面を見たとき私は、なぜ真面目なホセがわずかな時間でカルメンに惚れてしまったのか疑問に感じた。それゆえ今回はなぜドン・ホセはカルメンに惚れてしまったのかについて考察したいと思う。

まずホセの性格についてだが、ホセはかなり真面目であり華やかな女性に興味がない人間だと考えられる。なぜならばカルメンが登場した時に多数の男たちはカルメンを囲んでいたが、ホセはその場にとどまり続けていたからだ。またミカエラがもってきた手紙をみるホセの様子から、母親の言いつけに従い真面目な人生を歩んできた人間であるとも考えられる。

次にカルメンについてだが、性格はホセとは真逆で自由奔放であり身分も低く、真面目なホセが惚れる要素は一見ないと考えられる。

ではなぜホセはカルメンに惚れてしまったのか？ このことを考えるためにはカシアの花が重要なポイントであると考えられる。カルメンとホセが出会った際にカルメンがホセに花を投げた。この花がカシアの花である。カルメンとホセが出会ったときホセはカルメンに興味が無いように見えた。しかしその時投げられた花をホセは1幕の間ずっと持ち続けていた。興味が無い女性から花を投げられたら普通は捨てるはずである。しかしホセは捨てなかった。このことから、カルメンに興味をもっていないように見えたホセだが、心の中ではカルメンに興味を持っていたと考えられる。

また工場で騒ぎをおこし捕まったカルメンが歌を歌いホセを籠絡しようとした。その結果、ホセはカルメンに「君を愛したら、君も僕のことを愛してくれるかい」と言った。このセリフからホセはカルメンに惚れてしまったと考えられる。

ではなぜ真面目なホセが、母親から結婚して欲しいと言われたミカエラを裏切ってまでカルメンに興味を持ち惚れてしまったのか？ ミカエラはホセの幼馴染的存在であり、ホセの母親から気に入られてもいた。真面目なホセからすればピッタリな女性である。またミカエラは登場の際に暇を持て余した兵士たちに言い寄られていた。このことからミカエラは容姿も優れているといえる。しかしこのミカエラがいるのにホセはカルメンに惚れてしまった。ミカエラに何か落ち度があったのか？ いや私はなかったと考える。ではなぜホセはミカエラではなくカルメンを選んだのか？ ○これはミカエラが母親のお気に入りだったからだと考えられる。ホセは今まで母親の望むように真面目に生きてきた。同じように生きていくのであればカルメンではなくミカエラを選ぶはずである。しかしホセはカルメンを選んだ。これは今まで母親の望むように生きてきたホセだがここで母親から解放され自由に生きたいと思ってしまったからだと考えられる。

よって私は、○ホセは母親から解放され自由に生きたいと心のどこかで思っていたため、自由に生きるカルメンに惚れてしまったと考える。